



青空たかく

長南町立長南中学校
 生徒数 138人
 発行者 保川浩基
 電話 0475-46-1190

- 〈学校教育目標〉 郷土を愛し、未来を拓く創造的な知性と体力を身につけた心豊かな生徒の育成
- 〈めざす生徒像〉 自ら学び、考え、表現する生徒（創造）
- 長南プランの推進
 「学力と人づくり」
- 目標を持ち最後までやり通す、たくましい生徒（努力）
- 郷土を愛し、思いやりと感謝の心が持てる生徒（郷土愛・思いやり）



🎊 オリンピック・パラリンピックから学ぶ 🎊

10月1日、台風16号の接近・通過に伴う臨時休業に急遽対応していただきありがとうございます。これからも、安全第一に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、7月23日～9月5日にかけて、東京オリンピック・パラリンピック(以下オリパラ)が開催されました。今回は、招致活動からコロナ禍の開催そのものに対する賛否両論を含め、私たち一人一人が考え、胸に刻んでおかなければならないと思いました。そんな中、開催されたオリパラは、メダル獲得数をはじめ、日本勢の大活躍に沸きましたが、生徒や保護者の皆さんも、印象に残っている競技や出来事があったことと思います。



私もテレビ観戦やニュースで話題になる中、印象に残っている競技が数多くあります。特にスケートボード女子パーク決勝で、生徒の皆さんと同世代15歳の岡本碧優(みすぐ)選手が、果敢に挑み、最後に転倒した後のことです。演技後、悔し涙を流していた岡本選手のもとへ、他の選手たちが近寄り、担ぎあげて健闘を称え、岡本選手も笑顔で手を大きく上げ、歓声と拍手が響きました。私が、今まで観戦してきた中で最高のスポーツマンシップだと思ったとともに、いたく感動しました。もう一つは、スポーツライミングです。競技前に壁を下見(オブザベーション)するとき、選手同士で攻略法を話し合います。ライバルであっても、目標に向かって高め合う仲間だという気持ちが自然で、他の競技にはない魅力を感じました。

パラリンピックも多種多様な競技や障害種に驚くばかりでした。特に水泳女子背泳ぎ100m及び50m銀の山田美由紀選手です。両腕のない中、どのように泳ぐのか見当もつきませんでした。生徒の皆さんと同世代15歳です。座右の銘が、「無欲は怠惰の基である。」近代日本経済の父といわれる渋沢栄一の言葉であることにも感心させられました。「もっと上を目指したいとか、メダルを取りたいとか。欲が出ることは悪いことではないと思い、自分の欲に素直に従って全力で取

りくんでいきたいという思いを込めました。」と話しています。このように、オリパラでの生徒と同世代の選手の活躍や言動に感銘を受け、素直に嬉しく思いました。

一方、気になる記事を見かけました。重度の障害をもつ方で、オリパラに反対だそうです。理由は、「しょうがいしゃと健常者が分けられてきた、オリパラも同じである。」ことと「頑張っているしょうがいしゃを称え、頑張りを求められる。日常やっとなら生きていく人もいるのに」ということでした。心のバリアフリーと言いますが、自分にできることを真剣に考え、すべての人が共生する社会をめざす必要を強く感じました。

生徒の皆さんも、オリパラの競技だけでなく様々なことを考えるきっかけとなり、将来に生かしてほしいと願っています。

◇ 交通指導ありがとうございました ◇

交通安全ボランティアの皆様とともに、9月2日～6日天候の悪い中、PTA役員の皆様に登校指導をしていただきありがとうございました。今後も皆様方のご支援に感謝して教育活動を進めてまいります。よろしく申し上げます。



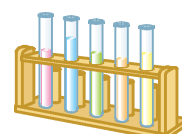
★ 大会・作品展等の結果Ⅳ ★

○長生地区中学校英語発表会
 第2位 (3年)

○長生郡市科学工夫作品審査会
 科学論文の部

- 金賞 (2年)
- 銀賞 (2年) (1年)
- 佳作 (2年)
- 工夫作品の部
- 金賞 (1年)
- 銀賞 (1年)
- 銅賞 (1年) (2年)

○長生郡市読書感想文コンクール
 入選 (1年) (1年)
 (2年) (3年)
 佳作 (2年) (3年)



§ スマートフォン・ネットの使用と危険 §

近年、スマートフォン（以下スマホ）やPC・ゲーム機等でインターネットを原因とする人間関係のトラブルが増えています。本校も例外ではありません。中学生には持たせないというご家庭の判断もあります。スマホを所持している、または、これから所持させるご家庭は、「スマホの使用には責任を伴う」ということを、お子様と話し合ってください。千葉県教育委員会が作成した「学校から発信する家庭教育支援プログラム」を参考に、以下に掲載します。

スマホは利便性の高い道具ですが、その使用には大きな問題も存在します。子供と一緒に考えてみましょう。



◇ 子供はどのような利用をしていますか。

何にどれくらい使っているかを、一緒に確認！

学習での活用も増え、利用時間は長くなっています。頭ごなしに叱らず、どんな使い方をしているか把握しましょう。

※スマホ等に入っているツールで**時間管理**することもおすすめです。(iPhone：スクリーンタイム・Android：デジタルウェルビーイング)

◇ 保護者がなかなか気づかないことがあります。

<動画や写真は危険がいっぱい>

友人や知人の情報が含まれるものを投稿することで、不快感やトラブルを生むこともあります。

※18歳未満の子供の裸の写真は特に注意！

男女を問わず撮ったり、持ったり、送ったり、リツイートしたりする行為は全て**違法行為**です。

<SNS等でのいじめや誹謗中傷への対処>

相談しやすい親子関係をつくり、話はじっくり聞く

子供が一人で悩みを抱えないためにも普段から

「何でも相談にのるよ」と声かけをしましょう。

誹謗中傷等のやりとりは**スクリーンショット**などで保存し、いつ何が起こったのかを明確に記録しておくことが大切です。必要に応じて、**専門家にアドバイス**を求めましょう。

この他にも ① 一度ネット配信・共有した画像や文字は削除したいと思っても、完全には削除できません。

② 画像には、位置情報が入っていたり、場所を特定できる背景、学校がわかる制服などが写り込んでいると、**意図せずに個人が特定され、トラブルや事件に巻き込まれる可能性**もあります。

③ **無料通話やグループでの利用できるコミュニケーションアプリ**(Facebook、LINE等)は、便利な反面、ちょっとした誤解から大きなトラブルに発展する場合があります。顔を見て話さないことから感情が伝わりにくく、解釈の違い、悪口、スルー、既読無視などから、いじめにつながるケースが多く報告されています。また、**IDを取得して掲示版等で交換すると見知らぬ人との出会いにつながり、注意が必要**です。

④ いつでもどこでもネット利用ができるため、**意識せずに長時間利用してしまう人が多く、ネット依存症に陥ります。**

◇ 保護者ができる3つのポイント

① 被害者にも加害者にもならないように、適切にインターネットを利用させる。

② 家庭のルールをお子様と一緒につくる。

※利便性とリスクをしっかりと考え、情報モラルを身につけて将来の自己管理につながるようにしましょう。

③ フィルタリング(あんしんフィルター)を設定する。

◇ 家庭のルールの具体例 (我が家ではどうですか?)

困った時は、すぐに相談する。

友達にメールやメッセージのやり取りを強要しない。

インターネットを使わない子を仲間外れにしない。

利用する場所や時間帯を決める。

パスワードは保護者が管理する。

お金がかかる場合は事前に相談する。

名前、顔写真、学校名など(個人情報)は書き込まない。

他人を誹謗中傷する書き込みをしない。

知らない人のメールに返信しない。

<相談窓口>

インターネット上の誹謗中傷に関する相談窓口



<内閣府>

ネットの危険から子どもを守るために



○ スクールカウンセラー (SC) への相談

専用電話にて直接SCに申し込みください。相談日以外の申し込みは学校に連絡ください。

相談日 10月8・15・22・29日 11月5・12・19・26日

相談時間 10:00～15:00 直通TEL 0475-46-3719

◇◇◇ 10月以降の予定 ◇◇◇

10 3年実力テスト

前期終業式 第2回漢字検定

第2回英語検定(10/1より変更)

後期始業式 生徒会任命式

小児生活習慣病・貧血検査

3年進路説明会

専門委員会 衣替え完全実施

3年進路面談

教育相談週間

11 3年実力テスト

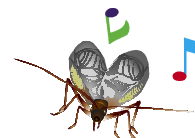
1年元気教室(小児生活習慣病対応)

合唱コンクール(生徒・職員のみで実施)

後期中間テスト

専門委員会

3年進路面談



※各行事については、状況により変更・中止となります。

※月曜日：一部活動デイ

※朝及び土日祝の部活動は、各部顧問にご確認ください。

※部活動下校時刻 10月1日～17:15 10月19日～16:45

11月2日～16:30(12/23まで)